地域に伝わる伝説や民話、文化財などを紹介

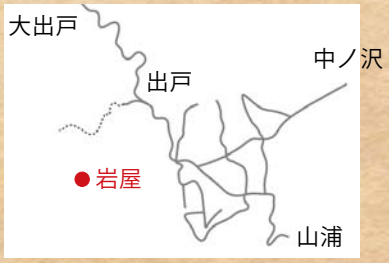
にしあいづ物語100選 その5

文：矢部　征男さん

出戸の岩屋さま

▲今も岩屋にある３体の仏像

出戸村南西に、虚空蔵尊・不動明王・毘沙門天の仏像３体が安置される『岩屋さま』と呼ばれる洞窟があります。今から５００年ほど前、伊勢外宮生まれの真海という修行僧がやってきました。また、村にはもう１人、出羽国長井生まれの伴越後という19歳になる修行僧が住んでおり、２人は、食料である十穀を断つ、厳しい修行僧でした。ちょうどそのころ、上野尻には阿波国生まれの筌暁という仏師がおり、ある名僧から『適当な岩窟を見つけて虚空蔵尊を彫って祀るように』と命じられ、全国各地を探し歩いているところでした。出戸村にいる真海と伴越後のことを知った筌暁は早速仏像造りに取り掛かり、２カ月後には立派な３体の仏像を彫りあげました。虚空蔵さまは知恵を授けるとされる仏であり、村人も深く信仰するようになりました。



それから２００年ほど後、越後国横越生まれの直応という修行僧がきてこの岩屋に住み、17年間も修行を続けました。やがて直応はここに御堂を建てようと思い協力してくれる人を探しました。幸い援助者が現れ、ついに御堂を完成させると、中町の修験大宝院にお願いして盛大なお祝いを行ったのでした。直応はこの時「御賓頭盧様」を寄進しています。以来、この御堂はますます大勢の参詣者で賑わったといわれています。

今も出戸地区では、毎年９月13日を縁日としてこの御堂で祭礼を開催し、５００年間続いてきた信仰を守り続けています。

▲岩屋に続く石段

今月の表紙

今月の表紙は８月15日に行われた「野沢ふるさと夏まつり」から。当日は、盆踊りに先立ち、こども園の児童たちによる「こゆりちゃん音頭」が披露されました。かわいらしい子どもたちの姿に拍手喝采、大盛り上がりでした。

※10ページに関連記事

編集後記

今は８月に行われている本町の成人式ですが、実は、昔は１月に行われていました。なぜ８月になったのか調べてみたところ、積雪や服装、帰省者などの問題で８月が良いという意見が増えたからだそうです。当時の新成人や関係者を対象としたアンケート調査では、８月を希望する人が７割を超え、初めて夏に挙行した昭和47年の成人式は近年にない盛況ぶりだったとか。今では、この夏の成人式も本町の魅力のひとつなのかもしれませんね。　長谷川祐一

Nishiaizu
広報にしあいづ №707　平成29年９月号
発行／福島県西会津町　編集／企画情報課　TEL 0241-45-2211（代表）
ホームページ　https://www.town.nishiaizu.fukushima.jp/
PRINTED WITH SOY INK
この広報紙は、環境に優しい大豆油インキを使用しています。